東陽町　石橋検定（3年生）

学校　　年　　組　名前

Ⅰ　正しいと思った番号を □に書きましょう。

問1	種山石工の始祖。元は長崎の武士で、オランダ人から円周率を学び、肥後の種山村に移り住んだ人は誰でしょう。 ① 藤原　林七　　②岩永　三五郎　　③橋本　勘五郎	答え
問2	八代市鏡町の出身です。通潤橋の手本となった砥用町の雄亀滝橋や鹿児島の甲突川五石橋を架けた石工頭領として有名です。 ① 藤原　林七　　②岩永　三五郎　　③橋本　勘五郎	答え
問3	種山石工の祖・林七の孫です。通潤橋をはじめ、明治６年に政府から招かれ皇居旧二重橋、日本橋、浅草橋などを造りました。 ① 藤原　林七　　②岩永　三五郎　　③橋本　勘五郎	答え
問4	明治２年に架けられた東陽町を代表する最も大きな石橋です。橋の周辺に町の棚田をイメージした公園があります。 ① 鹿路橋　　②笠松橋　　③谷川橋	答え
問5	東陽町には、たくさんの石橋が架けられています。その数は、全部でいくつでしょうか。 ①　１１こ　　②２１こ　　③３１こ	答え

Ⅱ　正しかったら○　まちがっていたら×を書きましょう。

問6	その昔、白髪岳の天神様が、道をふさいだ大岩を蹴り破って出来たという伝説が残っている天然の石橋は、平山天然石橋です。	
問7	町のシンボルゾーンである石橋公園内に移築された石橋の名前は、重見橋です。	
問8	石匠館そばの橋本勘五郎生家の近くには、今も鍛冶屋上橋、鍛冶屋中橋、鍛冶屋自然石橋、鍛冶屋下橋が残っています。	
問9	川俣地区にある美生川には、上流から美生橋、蓼原橋、鶴下村中橋、山口橋、谷川橋の５つの石橋があります。	

Ⅲ　ことばで 書きましょう。

問10	石橋のアーチの内周を形造る石のことを輪石といいます。この輪石の最頂部にある、最後に組み込まれる重要な石を何と呼ぶでしょう。 答え〔　　〕